

44 塩水でメスのシカを誘引する



WebA°-ジ°

技術のポイント

ニホンジカ(以下シカ)問題の解決に向けて、個体数を効率的に減らすためにはオスよりもメスを多く捕獲しなければなりません。私たちは食塩水(食塩約1kgに対し水2ℓ)が入ったバケツを林内のけもの道に設置することで、特に出産時期である春から初夏にかけてメスを強く誘引できることを明らかにしました。メスはオスよりもナトリウム(Na)が不足気味であることが本手法のポイントであり、鉱塩ではなく食塩(NaCl)を使用することが重要です。



図1 食塩水を入れたプラスチック製バケツ

食塩や水の追加は1~2ヶ月程度に1回。水は雨水で補われ、沈殿した食塩が新たに溶け出します。塩の量は1kgより多くても構いません。

連携・橋渡しの方向

都道府県で実施されている管理計画において、捕獲による個体数管理を行おうとする際の誘引オプションとして採用することができます。

詳細情報

- ・プレスリリース：「塩水でメスジカを引き寄せる」
<https://www.ffpri.affrc.go.jp/press/2024/20241029/>
- ・論文等：Mammal Research 68, 653-658. (2023)、European Journal of Wildlife Research 70, 65. (2024)

担当者

九州支所・鈴木 圭



図2 食塩水を飲みに来たメスのニホンジカ
食塩水を入れたバケツを林内のけもの道に設置してからメスが誘引され始めるまで1ヶ月程度かかります。

09/29/2022 16:31:38 020C

森林産業実用化カタログ2025



お問合せ先

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所
社会実装推進・知財戦略室

E-mail: sangaku@ffpri.affrc.go.jp

URL: <https://www.ffpri.affrc.go.jp/sangakukan/index.html>